



NTT 労働組合退職者の会
高知県支部協議会

通信

2009年10月15日 第41号 特集号

第11回総会議案書

NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会
会長 今井 智

〒780-0841 高知市帯屋町2-5-11
TEL 088-821-3800 FAX 088-873-3313
URL http://www3.ocn.ne.jp/~ob-3800/
E-mail taisyoku-kochi@air.ocn.ne.jp

NTT労働組合退職者の会高知県支部協議会 第11回総会議案書

(★総会当日ご持参下さい)

告 示

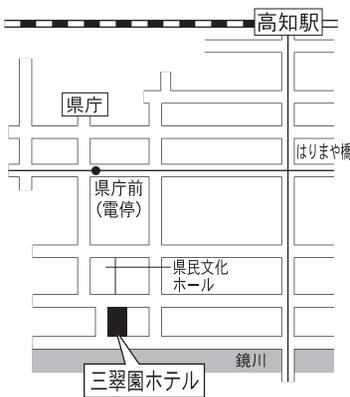
NTT労組退職者の会高知県支部協議会第11回総会を下記のとおり開催します。

記

1. とき 2009年11月11日(水)午後2時～
2. ところ 高知・三翠園ホテル
(TEL 088-822-0131 高知市鷹匠町1-3-35)
3. 議題
 1. 2009年度 活動方針(案)について
 2. 2009年度 予算(案)について
 3. 役員改選について
 4. その他

以上

2009年10月15日



NTT労組高知県グループ連絡協議会
会長 北村 彰 祥

NTT労組退職者の会高知県支部協議会
会長 今井 智

*会場設営の都合上、同封ハガキ(切手不要)にて「総会への出席の有無」と「懇親会への参加の有無」を表示し、11月4日(水)までにご返送願います。

安心・信頼、生きがいあふれる21世紀

みんなと共ニ!

はじめに

08年11月の第10回総会以来、現退一致の活動方針の下に、高齢者福祉の後退阻止、政治改革、自らのライフサイクルの安心のための共済生協の取り組みを進めてきました。ことに、8月30日投票の第45回衆議院議員選挙で、高知県は自公の現職の壁に阻まれたものの閉塞したわが国の状

況の転換を望む多くの国民の声が「投票行動を通じ、政権の歴史的転換がなされました。雇用や高齢者福祉・教育・一次産業復権等に加え、これまでの政権の膿ともいふべき700兆円におよぶ国家財政赤字の問題等、新しい政権を選んだ私たち国民にとっても一挙にばら色社会が到来する状

況にはないものの「政治が金持ちや大企業中心から国民の暮らし向き優先の姿勢」へと転換することに期待し、むしろこれからこそ年金生活者等の結束が必要との観点から、退職者の会高知県支部協議会会員1200名は、全国11万の会員、更には高知県高退連6000人の仲間の一員として「雇用打ち切りや人員整理等による困窮者支援カンパ」、依然として核の脅威の

状況にありません。ことにNTT西日本グループでは、IP系収入と業務の内製化による努力で平成19年度は黒字化したものの、更なる経営基盤確立にむけ「NTT西日本中期経営戦略」を策定し事業基盤安定を通じ、雇用の安定化、働き甲斐の向上への努力を傾注しています。私たちは、高齢退職者連合の活動に参加すると共に、現退一致の活動を推進しつつ、「安心・信頼、生きがいあふれる21世紀」の実現に向け取り組みを強化することとします。

この1年をふりかえって

一、組織活動・事務局常駐について

1 会員は、この1年間で、27名が新たに加入したものの死亡等による減員もあり、1188名(男551名、女637名)純増は0となりました。要因は契約社員制度の定着と、退職者の会に加入しなくても「退職者共済」が利用できる制度が出来たことにより、「5万円を預託してまで加入したくない」とのOBが出現したことによるものです。今年、高知県で退職者の会に加入資格を有する方の加入数は27名で加入率は61%にとどまりました。

2 当会活動に参加しないOBは、NTT労組が推進する「現退一致」の活動に加わらない「層で、これらの増大は現職労組側にとって将来にありませぬ。ことにNTT西日本グループでは、IP系収入と業務の内製化による努力で平成19年度は黒字化したものの、更なる経営基盤確立にむけ「NTT西日本中期経営戦略」を策定し事業基盤安定を通じ、雇用の安定化、働き甲斐の向上への努力を傾注しています。私たちは、高齢退職者連合の活動に参加すると共に、現退一致の活動を推進しつつ、「安心・信頼、生きがいあふれる21世紀」の実現に向け取り組みを強化することとします。

3 事務局常駐は過去の週2日から「火・水・木曜日」の後半日の3日間とし、会員との連携充実に寄与しています。更に、7月～8月の「共済加入拡大・継続事務」期間中は月曜から金曜までの午後半日を複数体制で対応しました。

今年の共済の取り組みは、5月に「共済の変更の有無」の「意向の意志」を示して頂くための第1次調査を行い、新規会員及び共済変更予定者の会員144名の方にのみ、「共済加入拡大・継続事務」資料を送

状況にありません。ことにNTT西日本グループでは、IP系収入と業務の内製化による努力で平成19年度は黒字化したものの、更なる経営基盤確立にむけ「NTT西日本中期経営戦略」を策定し事業基盤安定を通じ、雇用の安定化、働き甲斐の向上への努力を傾注しています。私たちは、高齢退職者連合の活動に参加すると共に、現退一致の活動を推進しつつ、「安心・信頼、生きがいあふれる21世紀」の実現に向け取り組みを強化することとします。

付した結果、稼動的には大幅に省力化することが出来た結果、185件・215

しかし、締切日が来ても「共済書類の未返却会員」が相変わらず存在し近郊役員を中心に「書類点検や督促」活動を展開しました。

4 支部協会費の引き上げの最終年度として2000円を徴収しました。昨年度の福祉会計・一般会計予算の見直し結果をベースに効率・適正執行に務めることとします。

5 満80歳到達会員への「5万円」預託金返還は、本年度（08年10月～09年9月末）22名の会員が該当し、N T T 労組四国総支部の共済担当を通じ返還処理を行いました。返還金の入金通帳の問い合わせに対して「お届け」がなされてこなかったため「送金」が遅れるケースもありますので会員の方への「満80歳で預託金返還を行う」との事前通知の必要性を感じています。

6 支部協会費の全国口座引き落としの統一システムが出来なかつた会員からの支部協会費の入金が数ヶ月遅れるケースがある事から、支部協会費入金金が「サミタレ」的入金となりますので、会員の方々は「口座や残高」の事前確認に一層の留意をお願いしたいと思います。

7 雇用打切りなど、厳しい現状からの克服を目指した「雇用と就労・自立支援の

ためのカンパ活動」を現職労組と共に5～6月に進めた結果、185件・215

8 日頃の「会活動」の連絡等で「応答のない会員」に対し「ごきげんですか!」訪問を実施しました。今後の組織活動の連絡等の円滑化が見込まれます。

二、中央協主催の各種研修会・交流会等への参加について

1 中央協主催の支部代表者会議・共済担当者会議やブロック研修会をはじめ、新任役員による全国交流集会への派遣を通じ、今後の活動への糧を得てきました。

2 これらの会議等に「共済活動の書類の改善や省力化」「退職者の会への新規加入推奨の充実」等の意見を反映してきました。

3 「現退一致の活動」の要として、情報労連高知県協議会・N T T 労組グループ連絡協議会の活動の役割が高まっており、幹事に当会役員を派遣し活動の推進に努めました。

また、5月の全国統一の「環境問題について考える」活動としての清掃活動にも参加してきました。

3 退職者の会四国連携委員会と現職労組との意見交換等を通じ、相互理解が図られる成果をあげてきており、一層の連携強化と組織化問題などの実効に向けた検討が必要な時期にあります。

三、地域の『集い』の開催と支援について

1 O B 仲間との「出会いと交流」の場として開催している県下各地の「集い」に連携・支援してきました。

この1年間で、室戸、安芸、香南・香美・南国、高知旭、高知南、土佐・春野、須崎、いの、高知西南(中村)、宿毛、土佐清水の11ヶ所に集う仲間とふれ合いつつ退職者の会の存在アップに努めてきました。

四、高知電友会との共催によるO B 親睦旅行について

1 09年5月26日～29日まで3泊4日で、本年も高知電友会と共催によりO B の親睦旅行を38名の仲間の参加により実施しました。

行き先は、電友会との合同の「旅行検討委員会」で、旅行業者からの企画案をベースに、退職者の独自プランを付加し、個人旅行では参加の機会の少ない「老岐・対馬」を訪れました。船中泊や離島をつなぐフェリーの乗り継ぎ、想定外の荒天による船酔いとの戦い等も体験しましたが、歴史に彩られた「国境の島」を巡りました。

2 今回は出発地を須崎市とし、「夕刻」出発の行程とするなど配慮しましたが、経費・行き先の制限(2泊程度が限界)等から、参加人員が減少・固定化する等の困難性は相変わらずです。また、6月の反省会でも次回からも「共催で実施し

五、情報活動について

1 会報「通信」を予定回数4回発行しましたが、企画や紙面充実を目的にした「編集委員会」の開催に至らず、「後追い記事」中心の紙面となりました。

2 支部協の「ホームページ」「メールアドレス」活用は、アクセス数は増加しているものの、会員の利用率の把握が出来ておらず、一層の普及活用が期待されます。

六、共済・福祉活動について

1 退職者共済活動は、会員の自助努力と共助の一助であり、多くの会員が利用しており、「会」活動の「結

集軸」として機能しています。

2 本年の会員継続・退職者共済の加入拡大活動は、従来までの膨大な事務量の集中・煩雑さの改善の試みとして、第1次の取り組みとして5月時点で共済内容を「変更する」もしくは「変更なしで継続」するかについての事前調査の取り組みを行いました。

この、事前調査の書類返却・回答は1011名(返却率84%)でありました。この結果をもとに、第2次の取り組みとしての、7月中旬から8月上旬までに事前調査で「変更する」とされた会員及び「09年3月以降の新規退職者の会加入会員」に対し「09年加入促進」資料を送付し取り組みました。

七、友誼団体との連携、安心・信頼、暮らしを守る活動について

1 高知県高齢・退職者団体連合に役員を派遣し、活動推進の中心的役割を果たして

この対象者146名の会員からの「申込み内容確認」等の作業に対応するため、電通生協本部及び四国担当職員をオブルグに招き役員の知識統一を図り万全を期しました。

3 8月4日の書類提出期日を数名の方がオーバーしたものの、稼動的には昨年までに比し、大幅な軽減となり、この活動に対する意見反映の成果といえます。

4 労金友の会活動や労福協活動、確定申告相談活動等に協力してきました。

高知県支部協 2008年度 主な活動日誌

年	月	日	主な活動	場所
2008	10	8	2007年度決算監査受検 2007年度 第4回幹事会 「通信」第37号(第10回総会特集)発送 第10回支部協総会案内状を各界に発送	事務局 NTT高知支社ビル 事務局
		16～17	電通生協加入促進会議	香川県
8	11	19	第10回総会参加者等集計 第10回高知県支部協総会	事務局 高知・三翠園
		12	7 16	高知西南地区O B の集い N T T O B 退職者「文化講演会」 N T T 労組退職者の会全国代表者会議 「通信」第38号(2009新年号)発送
2009	1	5	情報労連高知県協 2009年旗開き	高知・城西館
		13 14	O B 親睦旅行検討委員会 第1回幹事会	高知電友会事務局 高知市
	2	2	N T T 社員退職予定者説明会	高知・文教会館
		3～4	「確定申告」相談会	南国市
		5	「確定申告」相談会	高知市
		6	「確定申告」相談会	安芸市
		7	「確定申告」相談会	須崎市
	3	7	「確定申告」相談会	宿毛市
		9	「確定申告」相談会 (N T T 関係職域)	土佐清水市
		14	高知労福協学習会	四万十市
	4	6～7	N T T 労組退職者の会四国連携委員会	徳島市
		8	「南国・香美・香南」地区の「集い」	香南市
		26	「高知・旭」地区の「集い」	高知市
		30	「宿毛・大月」地区の「集い」	宿毛市
5	2～3	2009年退職者共済実務者研修会	東京	
	5	「貧困シンポジウム」	高知市	
	6	「長浜・瀬戸・横浜」地区の「集い」	高知市	
	7～8	N T T 労組退職者の会中央協ブロック会議 第2回幹事会	香川県 高知市	
	14 18	「安芸」地区の「集い」 退職者共済第一次意向調査	高知市 安芸市	
6	30～5月1日	「雇用と就労・自立支援カンパ」		
	9	「室戸」地区の「集い」 中央協主催「全国活動者会議」 O B 親睦旅行「老岐・対馬」	室戸市 静岡県	
7	25	「土佐・春野」地区の「集い」	土佐市	
	9	第3回幹事会	高知市	
8	17～30	「核廃棄物絶 1000万署名」活動		
	17～8月5日	退職者共済継続・変更申込み手続き(第二次手続き) N T T 労組四国総支部大会	香川県	
9	4～6	情報労連広島ピースフォーラム 「須崎」地区の「集い」	広島県 須崎市	
	11	N T T 労組高知分会総会 第11回退職者の会全国総会 「いの」地区の「集い」	高知市 大阪市 いの町	
9	26	「土佐清水」地区の「集い」	土佐清水市	
	30			

- 2 高知県労働者福祉協議会の「学習会」に参加すると共に、地域の労働協会の支援拡大にも取り組みました。
- 3 NTT労組が進める反核・平和行動の一環である、8・6（8月4日～6日）ヒロシマ原爆の日にあわせて平和集会に全国のNTT労組退職者の会の代表として、溝渕幹事を派遣しNTT労組関係者250人余と共に、ヒロシマ通信局交換手等の慰霊碑への参拝や8・6広島世界集会での平和を願う仲間たちと共に「反核・不戦」の誓いを新たにしました。
- 4 高知県高知市に於ける「核廃絶を願う」核兵器廃絶1000万署名活動」を7月に実施し、会員家族等1588筆の署名を集約し、中央協へ送付しました。この署名は来春、政府と国連に提出されることとなっています。
- 5 ボランティア活動調査は出来ませんでした。地域貢献への協力の一助となるよう『NTTボランティア高知OB会』の組織活性化と組織拡大に協力してまいりました。
- 6 NTT労組が推進する政治団体「アピール21」には役員が加入してはいますが、会員拡大と政治活動の地域での意義を見出すまでに至りませんでした。

【第1号議案】

2009年度活動方針

一、組織活動・執行体制の確立について

- 1 団塊の世代の退職時期を迎えているものの、会員の純増は停滞しています。これを克服するためには、NTTグループ労組総体が退職者の会活動の存在を再確認し、退職予定社員・組合員を「退職者の会」に加入させる取り組みをきめ細かく行うこと。
- 2 更に、退職者の会に未加入でも「共済が利用可能な制度変更を関係方面に提言するとともに、NTT労

- 3 行体制の強化に努めます。
- 4 事務局常駐は、「火・水・木曜日午後半日」が定着しましたが、「会員・共済継続事務集中時」や活動課題の集中時には「月・金曜の午後半日」への拡大配置等を行います。
- 5 但し、当会の行事催行日、NTT労使からの要請による行動等の参加時、高退連総会や労働協行事並びに年末年始・8月13日～15日の盆時期は原則として事務所閉鎖します。
- 6 四役・常駐者会議・常任幹事会の意識統一に努めます。また、NTT労組側からの役員参加を求めます。
- 7 支部協会は第9回総会（07年11月）の決定により、09年9月徴収から2000円となりましたので、予算執行の効率化に更に取り組みます。
- 8 「支部協会費と共済掛け金の口座引き落とし事務」が情報労連本部に移管されていることから、会員は必要高の確認等「口座管理」の一層の徹底を願います。
- 9 高齢会員や長期療養・介護会員へ「きげんですか！」訪問活動を役員が手分けし引き続き実施します。

二、中央協を始めとした各種研修会・交流会への参加について

- 1 退職者の会中央協主催の交流会、ブロック会議等へ積極的に参加し研修を通じて後の活動に活かせるよう取り組みます。

三、地域の「集い」の支援継続と地域活動者の交流会について

- 1 県下各地で、OBの出会いと交流を目的に活動している「地域のOB会」への支援を続けます。
- 2 新たに、旧嶺北杉地区で開催できるよう世話役発掘など支援します。
- 3 すでに県下各地で様々な活動を展開している、地域OB会の活動者の交流と連携強化のための「地域活動者交流会」を開催します。

四、OB親睦旅行について

- 1 本年度の親睦旅行についても高知電友会と共催で実施します。そのための両者による「旅行検討委員会」を開催し、旅行先等を早期

- 2 情報労連高知県協議会、NTT労組高知グループ連絡協議会と連携し「現退一致」の活動の推進をはかると共に「退職者の会への組織化」に現職側が最大限の取り組みをされるよう働きかけます。

五、情報活動について

- 1 会報「通信」の年4回発行を継続することとし、必要に応じて回数増も行います。
- 2 紙面づくりのための「編集委員会」を機能的に開催します。
- 3 支部協会のホームページや電子メールの活用推進を図ります。
- 4 「NTT労組新聞」への投稿にも取り組みます。

六、共済・福祉活動について

- 1 退職者共済は、監督官庁や生損保業界等からのコンプライアンス重視の風潮が必要以上に強くなり、取り巻く状況が複雑化していますが、会員の「自助・共助の重要な手段」としての高いニーズに因應するため、支部協段階での取り組みの一層の迅速・正確と会員への解かりやすく丁寧な応接に努力します。
- 2 10年夏の加入拡大・継続の諸方針は未定ですが、09年に取り組んだ方策（1次調査にもとづく、変更希望者中心の事務処理）は、支部協稼働の分散・軽減及び未提出・未回答会員への対応数の軽減等のメリットが

- 3 ありましたので、この方針の継続と、支部協の共済担当能力の向上のための研修会や役員の勉強会を開催します。
- 4 満80歳到達会員の「預託金」返還（振込み確認のため）事前と事後に「お手紙によるお知らせ」をすることとします。

七、友誼団体との連携、安心・信頼、暮らしを守る活動について

- 1 高知県高齢・退職者団体連合の活動に参加し、地域の高齢者問題解決の活動を進めます。
- 2 県内各地の高退連組織労働協や労金友の会活動に参加します。これら諸団体活動の活動内容紹介に協力し会員の活動への参加促進を図ります。
- 3 NTTOBや各地のOB会が取り組んでいるボランティア活動の把握と支援策を検討します。
- 4 NTTOBに共通する諸課題（文化講演会や親睦旅行、ボランティア活動等）については高知電友会との連携のもとに共通活動をすすめます。
- 5 NTT労組が進めている「アピール21」活動に協力します。
- 6 年金・税制・医療・介護等、政治体制の改革を受け「安心・信頼、生きがいあふれる21世紀」の具現化を、会員の皆さんと共に展開していきます。

退職者共済支払い状況

（2009年6月～8月までの支払分）

お祝い

- ☆米寿（2件）
川村 花様
山本 房子様
- ☆喜寿（5件）
松田島 幸子様
中谷 満恵様
藤川 登茂子様
岡本 佐世子様
土居 初子様

お悔み

- ☆本人死亡（4件）
溝渕 宗俊様
小川 裕海様
森本 道様
竹島 幸様
- ☆配偶者死亡（4件）
西川 楠寿様
大須賀 英男様
中山 健二様
加藤 幸恵様

任意脱会

- （3件）
大野 友四郎様
速渡 未義様
竹内 紀美様



第11回退職者の会 全国総会

新たな共済制度創設を検討

さる9月17日大阪において、第11回全国総会が開催された。

2009年度の新年針では、1. 会則の見直し。2. 中央協会の増配置。3. 東・西以外の企業本部における退職者の会の組織体制のあり方の検討。4. 会員の組織化は、企業本部・総支部・分支部・総連との連携・役割分担のもと組織一体となつて取り込む。5. 永年役員表彰制度の拡充。などが提案・承認された。



総会の報告で、NNTデータとコムウェアの職域OBが退職者の会に加入。退職者共済金あいあい50が来秋の9月1日をもって新規募集を停止すること。新たに「退職者共済共済(仮称)」を検討すること等が報告された。

会長に羽山氏が選ばれた。尚この総会に今井会長、国弘、足達の両幹事も参加した。

核兵器のない平和を次世代へ

8月4〜6日まで「情報労働広島ピースフォーラム2009」が開かれ、全国の退職者の会代表として参加した。



参加者は、「猿楽町・広島島の記憶」の視聴、「2010年NPT再検討会議に向けて、続く核脅威とヒロシマの役割(中国新聞社 田城明)による特別講演を拝聴。2日目は、平和記念公園(ピースウォーク、原爆資料館・被爆体験証言(退職者の会広島県支部協議会・松木忠生氏) 慰霊式(NNT基

町)に参加し、世界の恒久平和を願う核廃絶へ取り組んでいくことを誓った。最終日は、原爆が投下された午前8時15分に全員で黙祷を捧げる等の行動に参加。

米オバマ大統領を含め、核兵器廃絶を言っているのに、日本の政治家達は「力の論理」のなかでしか考えていない。「核の傘」依存を公言している。平和は核兵器ではつくられない。いまこそ「平和を次世代」に引継がなければと痛感した。

(溝淵 隆記)

各地区で総会開催

須崎 旧須崎局管内現役とOBの集い開催

須崎地区の「現役とOBの集い」が8月29日「道頓堀」において開催された。



市川副会長の司会で始まり、NNT労組(クル連)北村会長、退職者の会今井会長、電友会三本副会長から、それぞれ各組織の現状報告があった後、須崎OB会楠瀬会長の乾杯で懇親会になり、久しぶりに会う人、時々会う人などが弾み楽しい一時であった。更に衆院選投票日前日とあって選挙の話も盛り上がった。

安芸 懐かしい交流会

今春の4月18日安芸市総合福祉センターで安芸地区の「集い」が開かれた。



退職者の会矢野副会長、高知電友会三本幹事、NNT労組クル連北村会長、連合高知間嶋事務局長、高退連安芸地域協田田会長、民主党のくすもと清世支部長の各氏の挨拶のあと、総会に移り、曾我事務局局長より21年度総会議事の提案があり、全会一致で承認された。

土佐清水 女性が頑張る!!

9月30日、小川憲一さんの司会で「土佐清水地区の集い」が「足摺食堂」で開かれた。

参加者は、女性が中心で「私らは、趣味やカルチャーで張りゆうー!」男は退職したら「外に出んから、いかんね」と話が弾んだ。

又、お互い「病克服」策についても経験談で盛り上がった。

この「集い」に退職者の会の岡村事務局長も参加し、OB活動の報告がなされた。

NNT労組退職者の会・高知電友会共催

退職者文化講演会のご案内

◇日時 12月16日(水)午後3時~

◇場所 高知商工会館 3階 (高知市本町1-6-24)

◇演題 「土佐の郷土を訪ね歩く」

◇講師 エッセイスト 渡辺 瑠海 氏

高知の歴史を訪ね歩く、あのはちきんが帰ってきた! 土佐は日本文化の出発点 熱い想いを龍馬や乙女姉やんに代わって熱演 乞う、ご期待!

忘年会にも参加しませんか!! = NNT OB・OGならどなたでも参加できます =

★会費 5,000円(当日お支払い下さい)

★申込み 電友会 (☎ 088-871-1246)

皆様のご参加をお待ちしております

第24回

どうナツチュウが?



第45回衆議院議員選挙は、圧倒的多数をもって民主党が勝利に輝いた。まことに喜ばしいことだ。 それなのに高知はどうしたことだろう。まさかの大敗北!それも3人そろって!? 県民は「今のままで良い」とでも思っているのだろうか? いやそんなはずはない!そのことは、民主党の比例票が自民党よりも59000票近くも多いのを見ても分かる。皆さんにも随分とご努力いただき、高齢者としての安全・安心社会実現への期待を込めて、一生懸命頑張ったというのに。原因はどこ!? この上は、当選した皆さんに政権交代した良さを十二分に発揮してもらい、私たちが訴えようとしたものが何だったかを、県民の皆さんにもしっかりとアピールしていただくことだ。そしてその成果をもって、来年夏の参議院議員選挙の勝利へと結び付け私たちの暮らしを守りたいものだ。

引き続き、健康福祉事務所の方から「高齢者を元気に過ごすために」と題して講演があり、高齢者の習慣病を見直し、特にバランスのとれた食生活に注意し、「元気で人生を楽しむ」生きてほしいと言われた。懇親会では、現役も交え懐かしい昔話などで和やかな会となった。

何よりも、朝どれの「どろめ」が美味しかった。